



歩こうかい 5月例会（通算 366 回）



花を愛でる③ 旧東海道三河国をあるく③ 無量寿寺のかきつばたと八橋史跡めぐり

令和 3 年 5 月 12 日（水）

天気：晴れ ・参加者7名 <12,000 歩>



コロナウイルス感染拡大が止まらず、当日は 3 回目の緊急事態宣言発令日となったが、6 月例会の見通しが立たなく、7 月 8 月は夏季休会の為、皆さん万全の予防対策を行い名鉄三河八橋駅に集合。下り坂の天気では空は雲に覆われていたが、時折吹く爽やかな風が心地よく、快適な一日となった。

名鉄三河八橋駅を 10 時に出発し、15 分程で名勝八橋の中心となる在原業平ゆかりの無量寿寺に着く。本堂の裏側に広がる庭園内の池には、かきつばたが綺麗に咲いていた。諸説あるが、京都の銘菓八ッ橋はこの地にあった八枚の板の橋に由来すること。



無量寿寺参道



在原業平の像と歌碑



かきつばた園

浄教寺を経て鎌倉街道に入り、在原業平の菩提を弔う塚を守る人の、御堂して創建されたと伝えられている在源寺を参拝。さらに進むと5分程で根上りの松に着く。根元にあるのは「鎌倉街道之跡」の碑。

のどかな田園風景を眺めながら西に30分程歩くと旧東海道松並木に着き小休憩。松並木とかきつばたをバックに記念撮影。170程残る松並木を歩き、歌川広重の「首夏馬市」(ちりゅうしゅかうまいち)で知られる知立馬市跡を見た後、近くの公園で昼食。

首夏・・・陰暦4月・初夏



根上りの松



旧東海道松並木



馬市跡の碑と歌川広重の浮世絵

午後は旧東海道を北西に向かい東海道 39 番目の池鯉鮒宿(ちりゅうじゅく)へ。途中「本家小松屋」に立ち寄り知立名物「あんまき」を買った後、江戸時代東海道三社の一つとして崇められた名社・知立神社に参拝。毎年 5 月 2・3 日に行われる「知立まつり」の本祭には 5 台の山車が境内に宮入する。隣接する「しょうぶ園」で色とりどりの花しょうぶを楽しみ、「あんまき」を食べながらしばらく歓談。池鯉鮒宿本陣跡を経て、知立駅で 14 時頃解散する。



知立神社(知立まつりの山車蔵)



知立神社の多宝塔



知立古城跡



花しょうぶ園